

10月定例教育委員会
会議録

1. 招集年月日 令和5年10月12日（木）
2. 招集の場所 海田東小学校
3. 開会（開議）令和5年10月12日（木）9時30分宣告
4. 出席者
教育長 佐々木 智彦 委員 林 孝 委員 米丸 禎宏
委員 大野 美恵子 委員 竹岡 美佳
5. 説明のため出席した者の職氏名
教育次長 森山 真文 学校教育課長 小村 孝広
主幹 立田 春美 主幹 高木 和希
生涯学習課長 森原 知美
6. 職務のため出席した者の職氏名
課長補佐 世良 啓
7. 本日の議事日程
第1 会議録署名者の指名について 米丸委員
第2 議案第14号 令和5年度海田町教育委員会点検・評価（令和4年度対象）について
第3 報告協議第34号 生徒指導上の諸課題について
第4 報告協議第35号 各行事の開催及び結果等について

8. 議事の内容

9 : 3 0 開始

○教育長（佐々木） それでは 10 月教育委員会会議定例会を始めます。

本日の会議録の署名は、米丸委員にお願いいたします。本日の議題は、お手元の議事日程のとおりです。議案第 14 号令和 5 年度海田町教育委員会点検・評価（令和 4 年度対象）についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長（小村） 議案第 14 号令和 5 年度海田町教育委員会点検・評価（4 年度対象）につきまして、教育委員会の議決を求めますのでございます。別冊の資料を御覧ください。外部評価委員の広島大学大学院人間社会科学研究科の曾余田浩史先生に御指摘、御指導いただきました。令和 5 年 8 月 30 日にヒアリングを開催し、評価結果の妥当性や分析解釈の適切性などについての質疑をいただきました。御指導いただいた箇所を修正し、9 月 27 日付けで送付させていただきました。その結果、修正箇所については、適正に行われているという御判断をいただいております。ヒアリングで御指摘いただいた内容には大きな柱が 3 点ございます。1 点目については、事業を単年度で捉えて、この取組を「やりました」「できました」と評価するのではなく、複数年度の積み重ねや歩みを踏まえ、事業の今後の方向性を意識して評価する必要がある、単年度だけでは不十分であるとの御指摘ございました。2 点目については、数値等の結果自体よりも、その結

果についての分析や対策，意味付けがしっかりと行われており，今後の方策や改善を考えられていることの方が大事であるという視点でございませう。3点目については，事業評価の記述につきまして，各学校団体が行う活動とそれを支える教育委員会が行うべき活動との違いを明確化して記述する必要があるとの御指摘でございませう。これらを踏まえ，各課から御説明させていただきますので，よろしくお願ひします。それでは，まず学校教育課から御説明いたします。

○学校教育課主幹（高木）資料6ページを御覧ください。確かな学力の育成について御説明いたします。資料7ページを御覧ください。海田版「学びの変革」推進事業です。こちらは評価をなぜAとしているのか，見えにくいという指摘を受けました。事業評価に追記をしております。小学校は各教科でプラス5以上であり，中学校はプラス5以下であったが，国語，数学の評価観点「思考・判断・表現」で全国平均をプラス5上回った。中学校はプラス5以下ですが，この評価の観点では，全国平均を上回っていると追記をしております。それから，標準学力調査については，令和3年度を追記しております。令和3年度と令和4年度の比較という観点で入れております。詳しく見ていくと，中学校ではプラス5を下回っていますが，全国平均は上回っています。そして，令和3年度と令和4年度を比較すると，国語の平均点が上回っています。また，数学は全国平均を上回っています。この視点から，比較表の下に追記をしております。「主体的な学び」の実現に向け，

学習課題や指導方法の工夫改善が進んでおり、各種学力調査において、基礎的な知識・技能等、学力の定着が見られると明記しております。

今後の方策としての課題は、各中学校区で9年間を見通したビジョンを共有するという事で、海田町では、各中学校区で研究を進めておりますので、この部分を更に充実して、共有していく。また、2つ目のポツについて、9年間を見通した学びが必要であり、全ての教員が「質の高い『問い』を設定する力」や「単元を構想する力」についても、更に研修の機会を設定しながら、各教科の特質に応じた指導力向上に努めていくということです。ここに対して、教育委員会としても、研修などの際には、先生方に指導助言をしていきたいと思っております。次は、グローバル人材育成事業についてです。資料 10 ページを御覧ください。評価はAとしておりますので、80 パーセント以上は評価指標を達成していますが、課題も見られております。「語彙・熟語・文法」「読解」の項目においては、前年度を下回っております。

授業における教師の英語使用や生徒の英語による言語活動の割合に課題があるということが、今回の結果から分かっております。今後の方策として、1つ目のポツに読解力を身に着けるために、言語活動時間の割合を増やし、質の向上を図るため、Ca n D o リストにより、児童生徒の見取りを効果的に活用した授業改善に努めていく取り組みを各校で行っていきます。それに対してこちらも指導助言を行います。

または、外部講師を招いてそちらの視点で指導を受けていくことが、

この課題解決に向けた取り組みとして考えております。続きまして、ICT活用事業についてです。資料 11 ページを御覧ください。こちらは評価Bとしております。事業評価の表の下を御覧ください。ICT機能を活用することでの成果と課題を明記しております。成果としては、電子黒板の使用頻度が高く、ICT機器を活用することで、評価の内容が分かりやすくなり、児童生徒の学習への興味・関心が高まり、学習意欲につながっております。課題としては、提示された情報を児童生徒が整理・分析し、新たな学習課題を生み出すことができるようにしていくというのが課題です。今後の方策として、児童生徒が効果的にICT機器を活用し、情報活用能力やプレゼン能力を身に付けることができるようにするために、各教科等の特質に応じた授業づくりを行い、指導助言に努めるということです。電子黒板やICT、タブレット端末を使用しておりますが、そのような機会が増えております。それに対して、教育委員会の指導内容については、各学校にICT担当者がおり、定期的に連携をしながら情報把握をしていきます。また、好事例等を発信していき、課題に向けて、今後取り組んでいきたいと思っております。以上でございます。

- 学校教育課主幹（立田）続きまして、資料 13 ページを御覧ください。豊かな心の育成について御説明いたします。資料 14 ページを御覧ください。こちらは課題ができていないとの表記ではなく、どのように課題を捉えてどのように進めていくのかが分かるような表記に修正す

ること。また、成果と課題には、細かいことではなく、概要を記述して、詳細は各事業の該当箇所に明記すればいいのではないかとの御指摘を受けました。成果と課題の3段落目で、学校運営協議会を中心とした、ボランティア活動がまだまだ出来ていないと記述しておりましたが、ボランティアの組織体制を、海田西中学校区、海田中学校区それぞれに充実させて取り組んでいきたいとここに明記しております。

資料 15 ページを御覧ください。事業評価に課題として、2つ目のポツに、学校運営協議会を中心とした学校ボランティアの活動を充実させるための組織体制の整備に課題が見られると明記しております。

こども議会事業についても同様に、資料 14 ページの成果と課題に令和5年度も引き続き教育指導等においてより効果的に活用できるよう、教育課程の中に位置づけて取り組むことをここに明記しております。

資料 20 ページを御覧ください。今後の方策として、平日に開催をし、各校でオンライン視聴すると明記しております。次に、資料 16 ページを御覧ください。心の元気を育てる地域支援事業についてです。資料 14 ページの成果と課題に中学校区の取り組みを評価指標として作成することをここに明記しております。資料 16 ページを御覧ください。今後の方策として、1つ目のポツに各中学校区としての評価指標を作成し、推進基本構想の実現に向けて支援をしていくと明記しております。続きまして、資料 17 ページを御覧ください。青少年サポート事業についてです。資料 18 ページを御覧ください。事業評価につ

いて、2つ御指摘を受けました。資料 18 ページの上から2つ目のポツに相談員に対する相談件数について、御説明しています。昨年度と比較して相談件数が増加していることに関して、増加していることだけでは、どのように評価しているのかが分かりにくい。増加していることが、良いことなのか悪いことなのかということまで明記するべきとの御指摘でした。昨年度より 10 件増加しておりますが、児童生徒や保護者の相談のしやすさがあるのではないかと思います。相談に応じることで、さんさんルームや関係機関に繋いでいくことができおりますので、良いこととして明記しております。それから、2つ目の御指摘も同じ箇所で、相談件数を去年と比較して今年はこちらだという記述ではなく、年次変化が分かるように、過去のデータを載せたほうが良いのではないかと御提案がございました。新たに相談件数について表を設けております。以上でございます。

- 学校教育課長（小村）続きます。学校教育課の大きな柱の3本目でございます。資料 21 ページを御覧ください。児童生徒の安全・安心の確保と質の高い教育環境の整備について御説明いたします。大きな事業が3つありますが、2つについては大きく変更はございません。3つ目の教職員の働き方改革推進事業について御説明いたします。資料 25 ページを御覧ください。特に教職員の働き方改革については、単年度での難しさがあり、複数年度でどのように進めていくのかという視点が分かるように、明記するべきとの御指摘でした。評価指標を

4点設けております。上から2つ目のポツについて、今年度は達成できておりませんでした。残りの3つは、達成できております。このことがB評価と考えた大きな理由の一つでもあります。教職員の時間外勤務の時間については、45時間と80時間が一つ鍵になります。本来は45時間を超える教職員の割合は0%を目指さなければいけません。これが複数年度の最終的な目標になります。昨年度から今年度にかけて海田町としてどのように目標を設定して、取り組んでいくのかという視点で、事業評価の1番の課題になります。例えば、45時間を超える教職員の割合が50%以下の月数について、令和3年度は6月以上と目標を設定し、次の令和4年度は7月以上と設定しておりました。事業内容にありますように、ICT機器活用や教職員の意識改革等の取り組みを教育委員会で進めております。令和4年度については、公会計化の取り組みも行っています。このように、教職員の負担を教育委員会として何ができるのかという視点で、進めた結果、この数字がひと月でも減少するように、目標を中間指標として位置付けております。令和4年度については、残念ながら80時間を超える教職員の割合0%の月数としては、なかなか目標値に届きませんでした。教職員の働き方にどうしても月の偏りがあります。行事や部活動についても考えなければ、この目標値は上がりません。そこで、部活動の地域移行への取り組みや学校行事の精査を進めております。そのような視点で、来年度以降もそのように考え方を整理し、変更させていただきました。

学校教育課からは以上でございます。

○生涯学習課長（森原）続きます。生涯学習課から御説明いたします。

資料 27 ページを御覧ください。生涯学習の推進について御説明いたします。感染症対策をとりながらと追記をしております。また、事業についてはできていないことの記述ではなく、できたことについて明記すればいいのではないかと御指摘を受けました。成果と課題の後半部分について、織田幹雄スクエア以外の社会教育施設 3 館においても、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、それぞれが館の特長を活かし学習ニーズに沿った運営を行うことができました。今後は、4 つの社会教育施設がさらに連携しながら、利用の少ない世代に向けた事業を行うなど利用の促進に努めると修正しております。また、これに関連しまして、図書館管理運営事業についてです。資料 32 ページを御覧ください。事業評価について、評価指標である 9 万人には届きませんでした。指標の 87.8 パーセントであったという表記でしたが、来館者については、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症感染対策のための休館等の措置がなかったため前年度比で増加し、指標の 87.8%であったというように修正しております。次に芸術文化振興事業についてです。資料 40 ページを御覧ください。海田町文化スポーツ協会を通して事業を実施して、これまでとどのように変わったのかを記載するようにとの御指摘を受けました。資料 41 ページを御覧ください。事業評価の最後のポツについて、海田町文化スポーツ協会

が設立し2年目となり、協会の中で公民館まっりの在り方について議論がなされ、活動している公民館に関係なく出演・出品ができる「海田町文化祭」が、織田幹雄スクエアと海田東公民館それぞれで開催されたと修正しております。また、今後の方策の最後のポツについて、海田町文化スポーツ協会が実施する事業等については、住民が主体となって企画運営し、海田町の文化振興に寄与できる事業を実施していくよう支援していくと修正しております。続きまして、資料 52 ページを御覧ください。織田幹雄顕彰事業についてです。資料 53 ページを御覧ください。こちらも同様に、今後の方策について、海田町文化スポーツ協会が主体的に事業を企画運営できるよう連携・支援し、引き続き織田幹雄さんの顕彰や海田町のスポーツ振興を図ると修正しております。生涯学習課からは以上でございます。

○教育長（佐々木）評価委員の先生から御指導を受けて、記述や考え方を修正させていただきました。皆さんの方から御意見はございませんか。

○委員（大野）教職員の働き方改革推進事業について、何が長時間勤務となるネックになっているのでしょうか。教職員の声は聞いているのでしょうか。

○教育長（佐々木）小村課長、お願いします。

○学校教育課長（小村）はい。例えば、客観的に事実を把握するために、必ず毎月教職員の時間外の時間数を把握します。当然、時期によって

は増減がありますが、仮に時間数が増加している教職員がいた場合には、直ちに個別連絡をし、管理職の先生を通して、仕事内容を把握し、どうしてそのような状況が起きてるのか現状分析いたします。役職的なことで起きているのか、行事として起きているのか、または何か重なってるのか等を、まず分析をした上で、面談も含め学校として、どのようなことができるのかと進めております。その中で、仕事が平準化されるような状態を作ることに繋がっております。

○教育長（佐々木）他に御意見はございませんか。

○委員（林）今年の4月以降はいかがでしょうか。

○学校教育課長（小村）今年度は昨年度の後半から引き続いて、同じ状態で特に気になり指導したケースはありません。

○委員（竹岡）心理学的にカウンセリングを行う場合、その場はすごく自由にさせるんです。禁止事項以外は、基本的に何をしてもいいのですが、枠だけはしっかり守らせます。授業や学校の勤務についてもこの時間、この教科というように枠だけはしっかり決めて、その中で自由にしてもらえれば、お互いの安全が守られながら、仕事ができるのではないかと感じました。

○教育長（佐々木）他に御意見はございませんか。

（委員全員からなしとの声あり）

○教育長（佐々木）原案の通り可決するということによろしいでしょうか。

(委員全員から異議なしとの声あり)

○教育長（佐々木） それでは、原案のとおり決定します。

○教育長（佐々木） 次にまいります。報告協議第 34 号生徒指導の諸課題を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○主幹（立田） 報告協議第 34 号生徒指導上の諸課題について御説明いたします。資料 4 ページを御覧ください。9 月末現在で小学校から御説明いたします。暴力行為は 17 件、前月比 2 件増加、前年度同期比では 10 件減少となっております。いじめは 5 件、前月比は増減なし、前年度同期比では 1 件増加となっております。不登校は 15 件、前月比 5 件増加、前年度同期比では 7 件増加となっております。中学校については、暴力行為は 8 件、前月比 1 件増加、前年度同期比では 5 件減少となっております。いじめは 6 件、前月比 2 件増加、前年度同期比 8 件減少となっております。不登校は 23 件、前月比 4 件増加、前年度同期比では 3 件増加となっております。不登校児童生徒につきましては、9 月集計の結果において、前年度比で増加傾向にあります。保護者がさんさんルームの情報を認識しているのかを確認をしながら、関係機関に繋ぐ取り組みをしていきます。以上でございます。

○教育長（佐々木） 不登校については、全国的に増えておりますが、一人一人、社会との繋がりを途切れないように家庭訪問や面談等を行っております。顔が見れていない児童生徒はいませんよね。

○主幹（立田） はい。今はありません。

○教育長（佐々木） それでは、次にまいります。報告協議第 35 号各行事の開催及び結果等についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○教育次長（森山） 議第 35 号各行事の開催及び結果等について御報告いたします。まず、学校教育課からお願いします。

○学校教育課長（小村） 資料 7 ページを御覧ください。まず、10 月の行事でございますが、6 日金曜日海田中学校区公開研究会がございました。引き続き、20 日金曜日海田西中学校区公開研究会を海田小学校で予定しております。30 日月曜日令和 5 年度広島県市町村教育委員会教育委員研修会をガーデンパレスにて予定しております。林委員、米丸委員、大野委員が御出席予定でございます。11 月の行事でございますが、10 日金曜日市町村教育委員会協議会を広島市南区にて予定しております。米丸委員、竹岡委員が御出席予定でございます。13 日月曜日広島県女性教育委員グループ第 2 回研修会を福山にて予定しております。大野委員が御出席予定でございます。16 日木曜日教育委員会会議を海田南小学校にて予定しております。学校教育課からは以上でございます。

○生涯学習課長（森原） 生涯学習課から御報告させていただきます。資料 8 ページを御覧ください。10 月の行事予定でございますが、15 日日曜日ふるさと館展示室リニューアルオープンを予定しております。

21 日土曜日から 12 月 10 日日曜日まで織田幹雄記念館企画展「より速

くより高くより強く～アムステルダムへの道」を予定しております。

11月の行事でございますが、16日木曜日織田幹雄スクエアにてクラシックコンサート「エクシモン弦楽四重奏団演奏会」を開催予定としております。皆様の御手元にチラシと招待券を配布しておりますので、時間のある方は、是非お越しいただければと思います。生涯学習課からは以上でございます。

○教育長（佐々木）皆さんの方から御質問はございませんか。

（全委員からなしの声）

○教育長（佐々木）それでは、これで教育委員会会議を終了します。

11：30終了